

## 北条氏の時代

幕府という言葉は当時は使われていなかった。では、鎌倉幕府とは端的に言うと、何か。答えとして考えられるのは、「源頼朝とその仲間たち」である。その理解を踏まえ、本書では「仲間たち」の実態に迫り、鎌倉幕府が「源頼朝とその仲間たち」から「北条義時とその仲間たち」に変質していく過程と意味を分析していく

### 1, 分析に使う尺度

あ、「関東」がもつ意味 ①関東は「みやこ」を模倣すべし ②関東は関東で自立すべし  
い、関東での秩序

平家を例に取ると、①堂上平家（中央官） ②軍事貴族平家（地方官）  
③在地平家（都には大番役で参仕する 生活拠点は関東）

う、関東の地理 ①南関東四カ国 ②房総半島 ③北関東  
え、政治と教養 ①文官 ②武官

### 2, 頼朝以前

①前九年の役と後三年の役 — 『源威集』の説明のウソ

②源義朝の達成

関東に於ける源氏の威勢を復活させたのは、頼朝の父、義朝の活躍。  
相馬御厨乱入事件、大庭御厨乱入事件を通じて

### 3, 鎌倉幕府の成立

①幕府成立の意義 ・日本の歴史は「西高東低」 ・文官の必要性

②関東の各地域は具体的にどういう状況だったか 上総・下野・相模と武蔵

### 4, 13人の合議制

①そもそも決定権とは何か ②13人の横顔

曾我兄弟の敵討ち、梶原景時弾劾事件などを参考として、  
一人一人、分析し、紹介していく  
文と武 乳母 役職 地域性

### 5, そして内乱へ

政治と軍事の問題 文官はどこへ行ったか 室町幕府に何が引き継がれたか

◎北条政権とは

あ 基本は関東独立 い 意思を持たない王を戴き秩序は保存

う 南関東四カ国を掌握

これらの特性を持つ政権であった